

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【公開番号】特開2013-225013(P2013-225013A)

【公開日】平成25年10月31日(2013.10.31)

【年通号数】公開・登録公報2013-060

【出願番号】特願2012-96768(P2012-96768)

【国際特許分類】

G 0 3 B	17/02	(2006.01)
H 0 4 N	5/225	(2006.01)
H 0 4 N	5/232	(2006.01)
H 0 4 N	5/91	(2006.01)
G 0 3 B	17/18	(2006.01)
G 0 3 B	17/00	(2006.01)
H 0 4 N	101/00	(2006.01)

【F I】

G 0 3 B	17/02	
H 0 4 N	5/225	F
H 0 4 N	5/232	Z
H 0 4 N	5/225	B
H 0 4 N	5/91	J
G 0 3 B	17/18	Z
G 0 3 B	17/00	Q
H 0 4 N	101:00	

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月20日(2013.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述した課題を解決するために本発明の撮像装置は、

画像を撮影する撮像手段と、

モニタ画面と、

該モニタ画面上に備えられたタッチパネルと、

前記撮像手段による画像の撮影後から前記モニタ画面に撮影画像を所定時間表示するレビュー表示中に前記タッチパネルに対してタッチ操作が行われたか否かを判別する第1の判別手段と、

前記第1の判別手段により前記レビュー表示中に前記タッチパネルに対してタッチ操作が行われたと判別された場合にそのタッチ操作の状態を判別する第2の判別手段と、

前記第2の判別手段により判別されたタッチ操作の状態に応じて前記レビュー表示の表示方法を制御する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする撮像装置である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0007】**

上述した課題を解決するために本発明の撮像処理方法は、

画像を撮影する撮像手段による画像の撮影後から前記モニタ画面に撮影画像を所定時間表示するレビュー表示中に前記モニタ画面上のタッチパネルに対してタッチ操作が行われたか否かを判別するステップと、

前記レビュー表示中に前記タッチパネルに対してタッチ操作が行われたと判別された場合に、そのタッチ操作の状態を判別するステップと、

前記判別されたタッチ操作の状態に応じて前記レビュー表示の表示方法を制御するステップと、

を含むことを特徴とする撮像処理方法である。

【手続補正3】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0008****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0008】**

上述した課題を解決するために本発明のプログラムは、

コンピュータに、

画像を撮影する撮像手段による画像の撮影後から前記モニタ画面に撮影画像を所定時間表示するレビュー表示中に前記モニタ画面上のタッチパネルに対してタッチ操作が行われたか否かを判別する機能、

前記レビュー表示中に前記タッチパネルに対してタッチ操作が行われたと判別された場合に、そのタッチ操作の状態を判別する機能、

前記判別されたタッチ操作の状態に応じて前記レビュー表示の表示方法を制御する機能

を実現させるためのプログラムである。

【手続補正4】**【補正対象書類名】特許請求の範囲****【補正対象項目名】全文****【補正方法】変更****【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

画像を撮影する撮像手段と、

モニタ画面と、

該モニタ画面上に備えられたタッチパネルと、

前記撮像手段による画像の撮影後から前記モニタ画面に撮影画像を所定時間表示するレビュー表示中に前記タッチパネルに対してタッチ操作が行われたか否かを判別する第1の判別手段と、

前記第1の判別手段により前記レビュー表示中に前記タッチパネルに対してタッチ操作が行われたと判別された場合にそのタッチ操作の状態を判別する第2の判別手段と、

前記第2の判別手段により判別されたタッチ操作の状態に応じて前記レビュー表示の表示方法を制御する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記タッチ操作の状態は、タッチ操作の継続している時間である、

ことを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記第2の判別手段は、前記レビュー表示中に行われたタッチ操作が継続中であるか否

かをタッチ操作の状態として判別し、

前記表示制御手段は、前記第2の判別手段によりタッチ操作が継続中であると判別されている間、該レビュー表示を継続する、

ようにしたことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記撮像手段からの画像をライブビュー画像として逐次表示している前記モニタ画面内の被写体を撮影対象として指定するために、該被写体の表示位置に対応する前記タッチパネル上の位置がタッチ操作された際にリリーズ処理を開始させるタッチシャッタ手段を更に備え、

前記第2の判別手段は、前記レビュー表示中に前記タッチシャッタ手段によって前記リリーズ処理を開始させるタッチ操作後にそのタッチ操作が継続中であるか否かをタッチ操作の状態として判別する、

ようにしたことを特徴とする請求項3に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記第2の判別手段は、前記レビュー表示中に前記タッチパネルに対して行われたタッチ操作の軌跡に応じたタッチ操作の種類をタッチ操作の状態として判別する、

ようにしたことを特徴とする請求項1～請求項4のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項6】

前記第2の判別手段は、前記レビュー表示中に行われたタッチ操作がなぞり操作の場合に、そのなぞり操作の移動距離をタッチ操作の状態として判別する、

ようにしたことを特徴とする請求項5に記載の撮像装置。

【請求項7】

前記タッチパネル上で行われたタッチ操作が文字を手書きで入力する文字入力操作の場合に、その入力文字を認識する文字認識手段を更に備え、

前記第2の判別手段は、前記レビュー表示中に前記文字認識手段により認識された文字をタッチ操作の状態として判別する、

ようにしたことを特徴とする請求項5に記載の撮像装置。

【請求項8】

前記表示制御手段は、前記第2の判別手段により判別されたタッチ操作の状態に応じて、該レビュー表示時間を制御する、

ようにしたことを特徴とする請求項4～請求項7のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項9】

前記表示制御手段は、今回のレビュー表示時間を前回のレビュー表示時間として記憶保持しておき、次回のレビュー表示時に前記記憶保持されている前回時間分のレビュー表示を行う、

ようにしたことを特徴とする請求項1～請求項8のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項10】

前記表示制御手段は、前記第2の判別手段により判別されたタッチ操作の状態に応じて、該レビュー表示を停止させると共に、前記撮像手段からの画像をライブビュー画像として逐次表示するライブビュー表示に切り替える、

ようにしたことを特徴とする請求項1～請求項9のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項11】

画像を撮影する撮像手段による画像の撮影後から前記モニタ画面に撮影画像を所定時間表示するレビュー表示中に前記モニタ画面上のタッチパネルに対してタッチ操作が行われたか否かを判別するステップと、

前記レビュー表示中に前記タッチパネルに対してタッチ操作が行われたと判別された場合に、そのタッチ操作の状態を判別するステップと、

前記判別されたタッチ操作の状態に応じて前記レビュー表示の表示方法を制御するステップと、

を含むことを特徴とする撮像処理方法。

【請求項 1 2】

コンピュータに、

画像を撮影する撮像手段による画像の撮影後から前記モニタ画面に撮影画像を所定時間表示するレビュー表示中に前記モニタ画面上のタッチパネルに対してタッチ操作が行われたか否かを判別する機能、

前記レビュー表示中に前記タッチパネルに対してタッチ操作が行われたと判別された場合に、そのタッチ操作の状態を判別する機能、

前記判別されたタッチ操作の状態に応じて前記レビュー表示の表示方法を制御する機能

、
を実現させるためのプログラム。